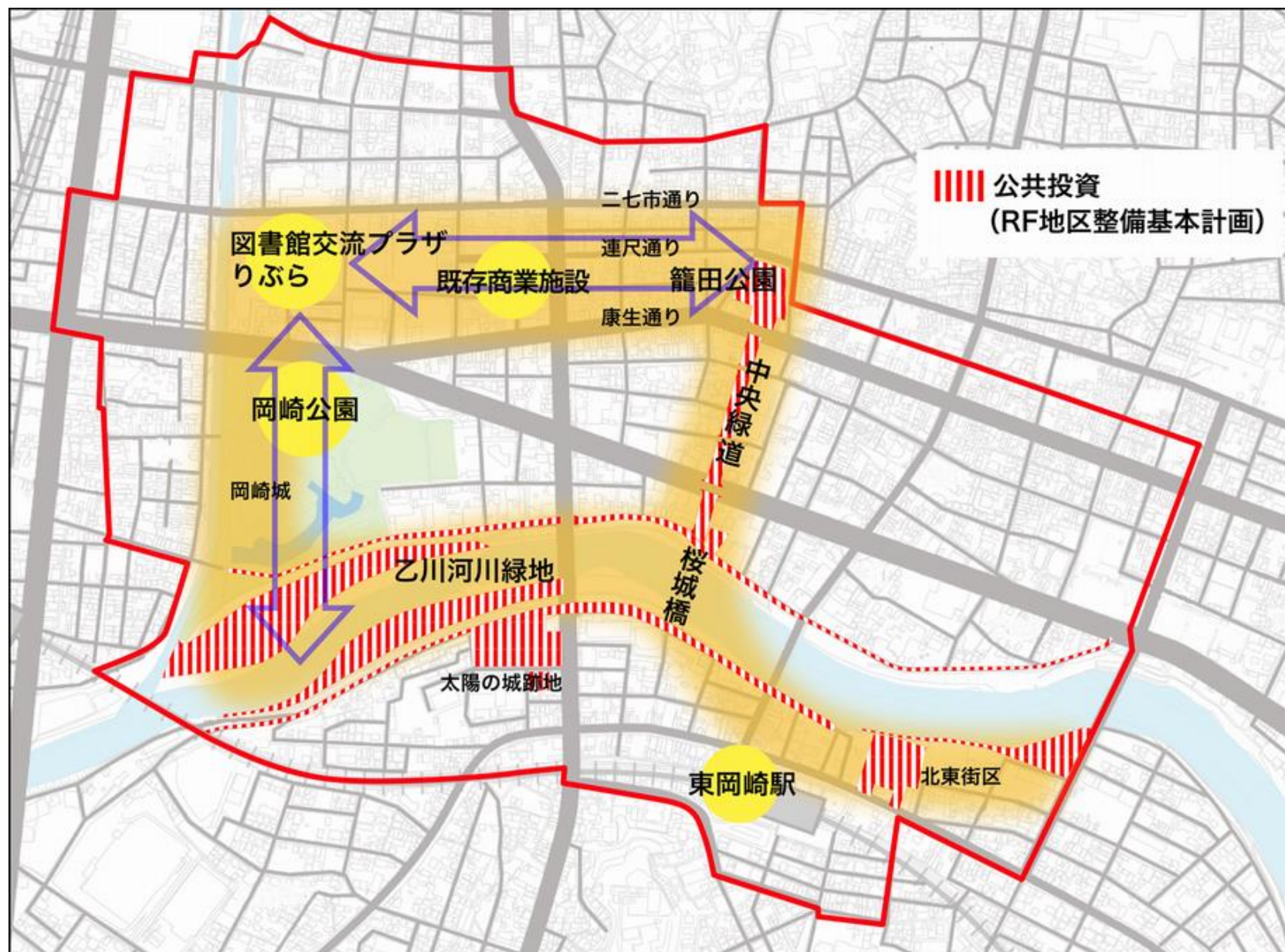


ウォーカブルなまちづくりに関連する事例

－目次－

1.基本情報	-----	P1
2.岡崎市 QURUWA戦略	-----	P2
3.水戸市 ウォーカブルな水戸まちなかにむけた都市空間活用実験	-----	P7
4.沼津市 OPEN NUMAZU	-----	P11

自治体	愛知県岡崎市	茨城県水戸市	静岡県沼津市	兵庫県加古川市
市面積	387.20 km ²	217.3km ²	186.82km ²	138.51km²
人口	38.4万人(R6)	26.8万人(R6)	18.7万人(R6)	25.6万人(R6)
駅利用者数	約4万人/日 (名鉄東岡崎駅)	約5万人/日 (JR水戸駅)	約3万人/日 (JR沼津駅)	約4万人/日 (JR加古川駅)
空家率	7.8%(H30)	4.8%(H25)	15.8%(H30)	10.1%(H25)



図：公共空間各拠点を結ぶ約3キロのまちの主要回遊動線(7つの公民連携プロジェクトが進行中)



写真：乙川のかわまちづくり

■規制緩和により実現した河川空間での、水上アクティビティや殿橋テラス、マーケットなどを実施



写真：東岡崎駅周辺（北東街区）の整備・運営

■名鉄東岡崎駅に隣接する約6,600㎡の事業用定期借地権を設定した市有地に商業空間、ホテル、駐車場を整備し、河川空間と一体的に活用



写真：道路空間の運営

■道路占用の規制緩和によりオープンカフェ、広告版を設置



写真:りぶら暫定駐車場の活用

■図書館交流プラザ「りぶら」東側に有する約11,000㎡もの駐車場や広場などの公的不動産を活用

水戸市 ウォーカブルな水戸まちなかにむけた都市空間活用実験



図: 実証実験の会場全体図(2022年度社会実験)

水戸市 ウォーカブルな水戸まちなかにむけた都市空間活用実験



写真：歩者共存のためのストリートサイン(2022年度社会実験)

■8つの点在する滞在空間を繋ぎ合わせるように、黄色のストリートサインを設置

水戸市 ウォーカブルな水戸まちなかにむけた都市空間活用実験

MAP

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを軸に、未来ビジョンで描いた水戸のまちなかの新しい日常の実現に向けて、まちなかに快適な居場所(=まちなかりビング)をつくります。エリア内では、取り組みの効果検証のため、複数箇所でのビデオカメラ撮影を行いますので、予めご了承ください。また、会場内で出たごみはお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

★パークレット

パークレットは道路空間の一部を転用して休憩したり、飲食や会話を楽しんだりと賑わう空間へと転用することを目的に設置する施設です。まちなかの再生に向けて、道路を単なる通行空間ではなく、賑わいや新たな交流の場へと転換することを目的とする取り組みです。水戸まちなかりビング作戦2023では国道50号(通称:大通り)の歩道の一部を占有し、まちなかの新しい居場所「まちなかりビング」としてパークレットを設置していきます。国道の歩道でのこうした取り組みは関東初の試みです! 期間中、最大8カ所へのパークレットの設置を予定しており、利用状況・交通への影響を確認しながら順次設置していきますので、少しずつ変わっていくまちなかを楽しみいただければ幸いです。ぜひ、この機会にパークレットを体験していただき、アンケートフォームからご意見・ご感想をお寄せください。

文化デザイナー学院前

南町2丁目

パークレットは、順次設置していきます。詳細については、HPよりご確認ください。

- 実施エリア
- まちなかりビング(★パークレット)
- 共用駐輪場
- みとちやリステーション
- トイレ
- まちの駅みと
- Free Wi-Fi
- 録画ポイント

まちなかチャレンジ

南町自由広場

まちなかの貴重なオープンスペースをより多くの皆さんに楽しんでもらえるよう、テーブルセットや植栽、フリーWi-Fiをご用意しています。ちょっとした休憩はもちろん、ピクニック利用もおすすめです。

ドッグラン

南町2丁目は小型犬専用(人工芝敷設)、南町3丁目(M-SPO南)は大型犬もご利用いただけます。南町2丁目のドッグランは、より快適にご利用いただけるよう、期間中にリメイクの検討を予定しています。

まちなかスタンド

移動中のスキマ時間にちょっと一息つけるスタンドテーブルを設置しました。近隣の店舗でコーヒーや軽食をテイクアウトしての利用がおすすめです。※テーブルの耐荷重は10kg

共用駐輪場

駐輪スペースが少ないまちなかに共用の駐輪スペースを設置。自転車でまちなかを移動する際はぜひこちらの駐輪場をご利用ください。※みとちやりの返却地点ではありません。

期間中、エリア内でイベント開催したり、空間を活用した自主提案企画「まちなかチャレンジ」を実施することができます! 皆さんの挑戦心を形にする機会として利用していただき、挑戦心を育むまちなかの風土を築き上げていきましょう! 詳細はHPをご覧ください。アンケートフォームへお問い合わせください。

図: 実証実験の会場全体図(2023年度社会実験)



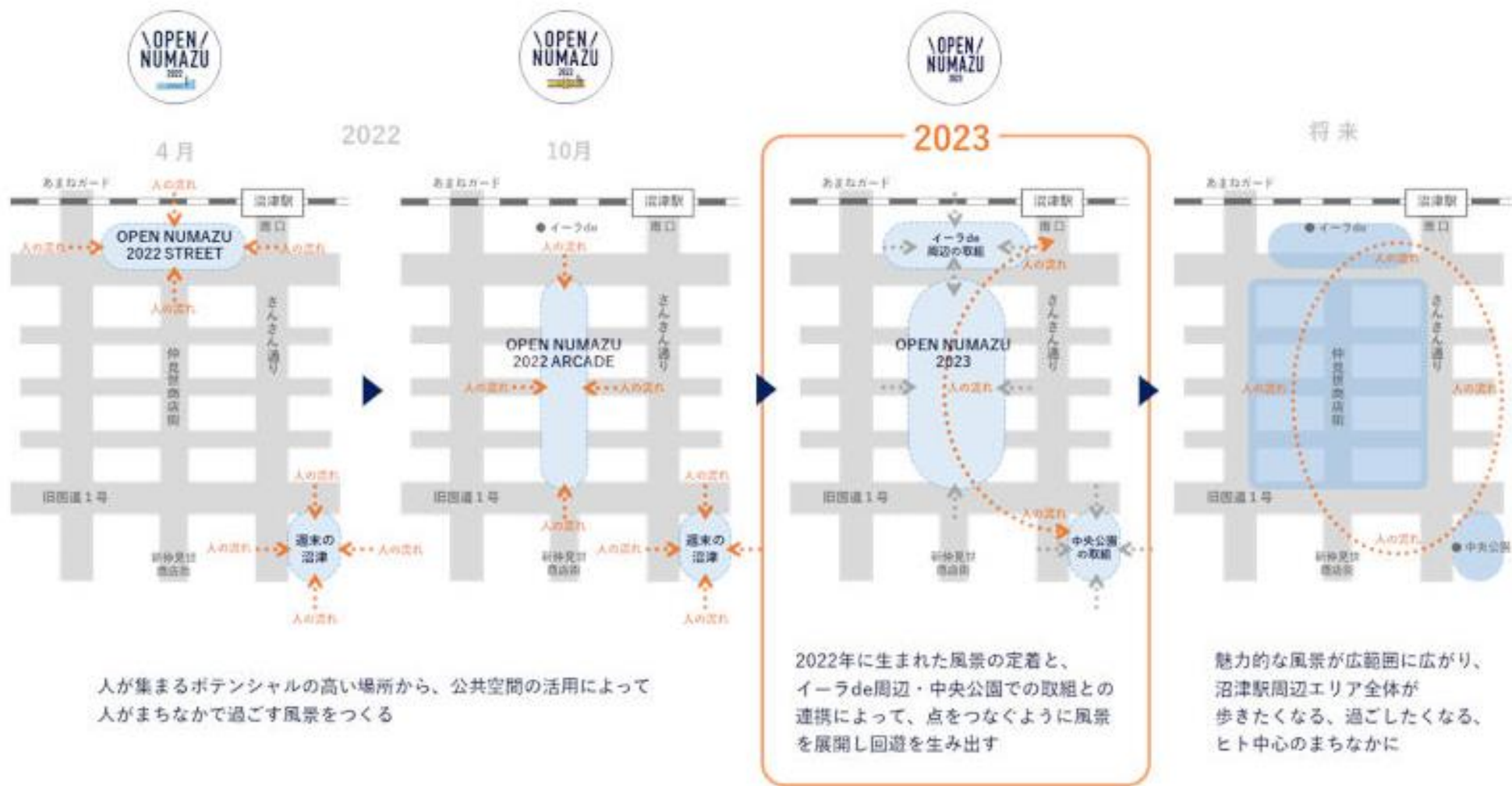
写真:パークレットの設置(2023年度社会実験)

■:道路空間の一部をして、新たな憩いの場を創出。
国道の歩道へのパークレット設置は、関東で初の試み



写真:ドッグラン(2023年度社会実験)

■:空き地をドッグランとして開放を継続しつつ、空間の有効利用に向けてさらなる活用を検討



図：実証実験の会場全体図



写真：イーラde周辺歩道及び南側車道の一部の活用(2022年度社会実験)

■沼津駅南口駅前広場への左折車線を規制し、歩行者空間へと転換



写真：商店街の一部をリビング空間へと活用（2023年度社会実験）

■周辺で取組に賛同いただける店舗に対してイス等の什器を貸し出し、取組の連鎖を図っている。